

各 位



平成 21 年 11 月 6 日

会 社 名 ナビタス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 中村弘一
(JASDAQ コード番号 6276)
問 合 せ 先 執行役員管理部長 眞柄光孝
電 話 番 号 (072)244-1231

平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間(連結・個別)業績予想との差異に関するお知らせ

平成 21 年 7 月 31 日に公表いたしました平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)の業績予想について、下記のとおり差異が生じたのでお知らせ致します。

記

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値と実績値との差異(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(連結)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	1,680	△60	△53	△35	△6.75
実績値 (B)	2,002	△72	△106	△72	△13.88
増減値 (B-A)	322	△12	△53	△37	
増減率 (%)	19.2	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	2,584	207	221	126	23.63

(個別)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	800	△ 86	△ 62	△ 40	△ 7.71
実績値 (B)	802	△ 127	△ 103	△ 67	△ 13.04
増減値 (B-A)	2	△ 41	△ 41	△ 27	
増減率 (%)	0.2	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	1,455	67	97	55	10.44

2. 差異の理由

平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間は、一部回復の兆しが見え始めてはおりますが、引き続き厳しい経済情勢の中で推移いたしました。このような状況の中で、当社グループは新規開発製品を基軸に特殊印刷機の需要を開拓する一方、コスト削減及び経費削減に注力しつつ業績の改善に注力してまいりました。しかしながら、それらの成果を十分に発揮することが出来ず、また将来を見据えた開発投資を継続していることにより、個別業績において、売上高は前回発表予想を確保したものの各利益は前回発表予想を下回る結果となりました。

また、連結業績については、関連会社は海外への売上依存度が高く、売上高は前回予想を上回ることができましたが、個別業績予想の修正理由に加えて、為替差損が発生したことにより経常利益及び四半期純利益が予想を下回る結果となりました。参考までに、前回公表時の予定レートは 1 ドル=92.74 円でしたが、最終的な換算レートは 1 ドル=90.21 円であります。

なお、平成 22 年 3 月期通期連結業績予想及び平成 22 年 3 月期通期個別業績予想につきましては、引き続き厳しい経営環境となることが予想されますが、これまで実施しております新規需要の開拓とコスト削減・経費削減を一層強力に推し進めることにより、現段階においては前回公表した予想（平成 21 年 7 月 31 日付公表）から変動はないものと見込んでおります。

以上